

自身を鎧よい、世界へ挑め

— 社会で活躍するリーダーとなるために —



1960年東京生まれ。東京大学教養学部教養学科・東京大学理学部物理学卒業。マギル大学大学院博士課程修了。理学博士 (Ph.D.) サイエンス作家。NHK E テレ「サイエンスZERO」、TBS「ひるおび!」など出演多数。物理学の解説書や科学評論を中心に100冊あまりの著作物を発刊。2006年には『99.9%は仮説～思い込みで判断しないための考え方』(光文社新書)を出版し、40万部を超えるベストセラーとなる。物理、数学、脳、宇宙、・・・など幅広い科学ジャンルで発信を続け執筆だけでなく、テレビ、ラジオ、講演など精力的に活動している。「JAXA 経営に関する懇談会委員・外部広報委員」「内閣府 総合科学技術・イノベーション会議構成員」「文部科学省 科学技術白書表紙絵・デザインコンクール選考委員」などを歴任。

国立大学法人
北陸先端科学技術大学院大学

Program

[13:30-14:00] 受付

[14:00-14:20] 開会挨拶・講演

「生まれ変わるJAIST」

浅野 哲夫 (北陸先端科学技術大学院大学 学長)

[14:20-15:50] 特別講演

「99.9% は仮説

～思い込みで判断しないための発想法」

竹内 薫 氏 (サイエンス作家)

[15:50-16:05] 休憩 (15分)

[16:05-17:05] パネルディスカッション

「専門分野で自らの価値を極める」

●コーディネーター 永井由佳里 (知識科学研究科 教授)

●パネラー

伊藤 泰信 (知識科学研究科 准教授)

山口 宏美 (知識科学研究科 博士後期課程3年)

池田 心 (情報科学研究科 准教授)

佐藤 直之 (情報科学研究科 博士後期課程2年)

金子 達雄 (マテリアルサイエンス研究科 准教授)

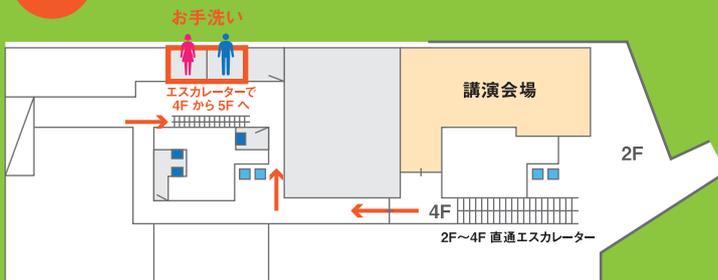
伊吹 友佑 (マテリアルサイエンス研究科 博士前期課程2年)

[17:05-17:20] 質疑応答

[17:20-17:30] 閉会挨拶

お手洗いは、会場外のビル共有スペースにあります

4F



会場内は禁煙となっております。

また、本日はビル内に喫煙所のご用意がございません。喫煙の際は、ビル外の公共喫煙スペースをご利用ください。(公共喫煙スペースは当ビルより徒歩5分程度の場所にあります。詳しくは受付にお問い合わせください)

パネルディスカッション関係者紹介

[パネラー]

伊藤泰信 (イトウ ヤスノブ)

知識科学研究科 准教授

九州大学博士 (比較社会文化)。英国ロンドン大学 UCL 人類学部客員研究員。文化人類学者。もともとはニュージーランド先住民の文化復興運動に関する調査研究に従事。2005年にJAISTに着任してからは、文化人類学の現場密着型の調査手法であるエスノグラフィを、産業 (ビジネス) や研究現場・医療現場に応用する研究に力を入れている。JAIST 東京サテライト (品川) の社会人コースの学生教育にも力を注ぐ。

[パネラー]

山口宏美 (ヤマグチ ヒロミ)

知識科学研究科 博士後期課程3年

石川県出身。やわたメディカルセンター勤務の社会人学生。研究テーマは医療現場の多職種協働に関するエスノグラフィ。病院では臨床検査技師、心臓リハビリテーション指導士、医学情報管理の仕事に従事。JAISTでは伊藤研究室にて文化人類学・医療人類学、および、その方法論であるエスノグラフィを学び、現場の改善・改良に取り組む。本シンポジウムでは、問題の解決に向けて異分野との共創が生む面白さを伝えたい。

[パネラー]

池田 心 (イケダ ココロ)

情報科学研究科 准教授

東京工業大学博士 (工学)。専門はゲーム情報学、機械学習、最適化。囲碁やテレビゲームの「強いAI」さらには「人間にとって楽しいAI」「教えてくれるAI」を作ることを目指す。ゲームを好きだけでなく、今のゲームAIに“不満がある”学生さんを歓迎し、楽しく真剣な研究活動を通して人工知手法以外にも技術者に必要な多くの能力を身に付けてもらうことを狙っている。

[パネラー]

佐藤直之 (サトウ ナオユキ)

情報科学研究科 博士後期課程2年

栃木県出身。本学5年一貫教育プログラム在籍。池田研究室にて、ゲーム人工知能に関する研究を行い、現在は多数の駒を一度に操作する「ターン制ストラテジーゲーム」で強いAIを作る研究に従事。学术界で活躍できる人工知能研究者を目指して、JAISTで日々学業に専念。本学は研究にアツい先生方が多く、様々な事を学ぶ機会があり、また研究に対する貪欲な姿勢にも刺激を受けている。

[パネラー]

金子達雄 (カネコ タツオ)

マテリアルサイエンス研究科 准教授

東京工業大学博士 (工学)。専門は高分子合成、ゲル、液晶、およびバイオプラスチックなどの環境適応材料。北海道大学助手 (1997-2001)、鹿児島大学助手 (2001-2004)、大阪大学助手 (2004-2006)、北陸先端科学技術大学院大学助教授 / 准教授 (2006- 現在)。その間、UCLA 客員准教授 (2013)、「天然マテリアル」エクセレントコア拠点長 (2015- 現在)、サクラン研究会副会長、樹木医師。

[パネラー]

伊吹友佑 (イブキ ユウスケ)

マテリアルサイエンス研究科 博士前期課程2年

兵庫県出身。研究テーマは、「バイオマテリアルを用いた高耐熱透明材料の開発」。学部時代は無機材料の研究に取り組み、プラスチック材料の開発がしたく、JAISTで現在の研究室に所属。本シンポジウムでは、JAISTの良い点、そして、悪い点を学生目線で話したい。

[コーディネーター]

永井由佳里 (ナガイ ユカリ)

知識科学研究科教授、知識科学研究科長

武蔵野美大で視覚伝達デザインを学び (修士)、英国ラフボロ大学で創造性研究を行う。創造デザイン学の研究で、千葉大学 (2002)、シドニー工科大学 (2009) から Ph. D 学位を授与される。日本型イノベーションデザイン教育を実践。International Journal of Design Creativity and Innovation 誌編集長。専門分野は、知識科学、デザイン学、創造過程論、デザイン&イノベーション。